

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	牛久市家庭教育支援チーム (呼称:)
②活動拠点	牛久市教育委員会生涯学習課(中央生涯学習センター)
③活動範囲	牛久市全域
④組織体制	9 人 スクールアシスタント9人
⑤活動開始年度	令和元年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 牛久市教育委員会 生涯学習課 (TEL)029-871-2301 内線 3080 (E-mail) syougai@city.ushiku.ibaraki.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☐ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☐ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ○外国籍保護者支援 ・外国籍児童生徒の保護者に対して電話連絡や家庭訪問を行い、また、学校での面談に立ち会って、双方の意思疎通や情報交換が容易になるよう支援を行っている。 ・電話やメールを通して、子育てや困りごとの相談に対応している。 ・市内小中学校、義務教育学校における外国籍の保護者及び児童生徒に対して、訪問や面談を通して支援を行っている。 ・外国と日本の教育システムの違いを理解していただくため、「進路相談会」を外国籍児童生徒の保護者を対象に行っている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	○外国籍保護者支援 ・学校からの文書情報を翻訳、通訳することで、学校と保護者の意思疎通が容易になり、必要な情報が十分に伝わるようになった。また、保護者の学校への信頼感が高まった。保護者の子育てや仕事に対するストレスが軽減された。 ・生徒の進路に関する面談では、保護者の思いを学校側に通訳して伝えることで生徒と保護者が納得した進路選択が可能になった。 ・外国籍児童生徒の保護者を対象とした「進路相談会」を行ったことで、進路に関する情報を得る良い機会となった。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()